

事業者の皆さまへ

人が集まる事業所で 人生会議のきっかけづくりを

いのち輝く人生のため「人生会議」を推進する条例 令和5年4月1日施行

人生会議（ACP=Advance Care Planning）とは、

**自らが希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、
どこでどのような医療やケアを望むのかを自分自身で前もって考え、
周囲の信頼できる人たちと話し合い、共有しておくことです。**

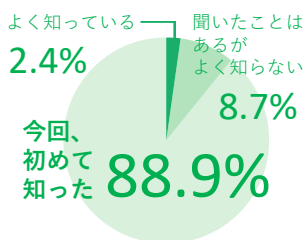
このたび、大阪府では、府、市町村、事業者及び関係機関が連携し、
人生会議に関する府民の理解を深め、本人の意思により
人生会議を推進することを目的とした『いのち輝く人生のため
「人生会議」を推進する条例』を制定しました。



「人生会議」の認知度等に関する現状

令和5年度大阪府人生会議(ACP)に関する認知度調査より(n=2,007)

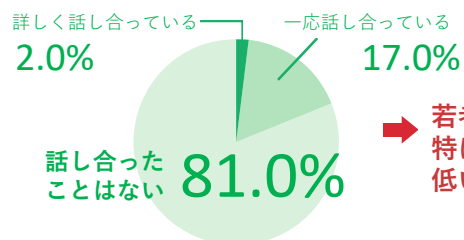
Q. 人生会議について知っていましたか？



→ 人生会議の認知度は11.1%と低い水準

50代から70代が特に低い傾向。50代は働く世代でもあり、企業の中で啓発に取り組むことが、50代以降の認知度向上および「人生会議」の実践へとつながっていきます。

Q. 家族や自分の医療・ケアに関する希望について、話し合ったことはありますか？



→ 若者世代が特に低い傾向

Q. 人生会議をはじめようと思いますか？

これから
はじめようと思う **40.8%**

→ 「大切なことだ」という認識はある

Q. 家族や医療関係者等と、自分の医療・ケアについて話し合う時期があるとすれば、いつ頃がいい年齢だと思いますか？

年齢は関係ない **54.6%**



人生会議は だれでも いつからでも はじめることができます！

この条例のポイント

人生会議(ACP)の普及啓発と機運醸成

全世代が命について深く考え、全ての府民がいのち輝く人生を送ることのできる大阪府をめざす。



©2014 大阪府もずやん

人生会議はみんなに関係のあることですから、まず知って、身近な人にも教えましょう

条例の対象機関として「事業者」を明記

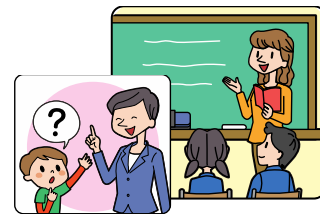
府、市町村、事業者及び関係機関（医療機関や老人福祉施設等）が連携協力することや、各機関の役割を明記。

〔事業者の役割：創意工夫した人生会議に関する普及啓発の実施〕



若者世代への普及啓発の重要性を明確化

府立学校、市町村立学校、私立学校、PTA等と連携し、若者世代へも普及啓発を実施。



だから今、人生会議

具体的なはじめ方

STEP 1

自分の思いに気づき、確認する

「最期のときをどう生きたいか？」
「どこで、どんな医療やケアを受けたいか？」

STEP 2

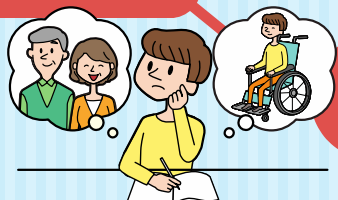
家族や身近な人、医療・福祉・ケアの担い手にその思いを伝える

STEP 3

思いをかなえるためには、どうしたらよいか考えて話し合う
「どのような治療方針や選択肢があるか」

STEP 4

思いが変化するたび、繰り返し伝えて話し合う
人生会議は、何度おこなってもよいものです



書きとめて周囲と共有する



事業者の皆さまへお願いしたいこと

- 1 企業内での啓発（社員研修や施設利用者への啓発等の実施）を行うことで、みんなが人生会議を始めるきっかけづくりをしましょう

大阪府から啓発資材等（パンフレット [人生会議実践シート付き] /アニメーション動画 / 漫画冊子）の提供や研修等への講師派遣調整も可能です。ぜひご活用ください。

大阪府「人生会議」のHPはこちら

啓発資料や講師派遣について確認できます。



- 2 企業外での啓発（企業が実施する啓発イベントでの人生会議の周知等）を行い、府民がより豊かに生きるためのサポートをしましょう

人生会議はまず「知ること」から。身近な人がいきいきと暮らせる環境をつくるのは、事業者にとって大切なことです。

大阪府「人生会議」啓発漫画はこちら



©2014 大阪府もずやん

条例本文はこちらをご覧ください

いのち輝く人生のため「人生会議」を推進する条例



発行 大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課